

サクラソウ日記

文責 校長 宮脇 真一

大津小学校の保護者の皆様へ

4月14日（木）は、本年度最初の授業参観でした。人数、時間を制限しての参観に快く協力していただくとともに、児童と担任の学びの様子を温かく見守っていただき感謝申し上げます。今後も感染状況に配慮しながらの公開になるかと思いますが、その都度状況を確認しながらできるだけ効果的な参観を目指していきたいと思います。

～命を大切にする大津小～

保護者の皆様には、毎朝、各地区で児童の見守り、登校指導にご協力をいただき、感謝申し上げます。私も先週からできる限り児童の登校時間帯に校区内を歩いていますが、出勤前のいちばんご多用な時間帯にもかかわらず、笑顔で子どもたちを見送っていただきありがとうございます。おかげで安全な登校ができています。

また、下校時についても、自宅近くまで迎えに立っていただいていると伺っています。ただ、児童の下校時間帯は、みなさんのお仕事の時間帯と重なることが多いことから、どうしても朝のようにはいきません。そこで、本校の西宏美教諭（生活安全部長）が、下校時の見守り支援を「県警ひまわり隊」に依頼し、定期的な下校の見守り体制を作ってくれました。鮮ど市場前の交差点の他、校区内2カ所で、児童の下校の様子を「県警ひまわり隊」のみなさんが定期的に見守ってくれます。交通安全はもちろん昨年度何度かあった不審者の抑止にもつながってほしいと思っています。なお、本日の熊日新聞にも、このことについての記事が掲載されています。（記事はHP 担当水野教諭が本校HPに掲載済みです。）

～『背中で見せる』：6年生～

今週から本格的に授業が始まりました。学力向上部からの提案で、全ての学年で統一して取り組むことを確認し、全ての学級での取組が始まっています。（詳細は近日中にHPに掲載予定です）

そんな中、6年生の学年集会では「全校の手本となる動き」を求めました。その一つに「靴をそろえる」ことがあります。かかとをそろえて丁寧に靴を置くという行動は、単に見栄えをよくするという意味ではなく、気持ちを落ち着かせて学びに向かうという学びへの「構え」につながるものです。翌日、6年生の靴箱はきっちりとかかたがそろった靴が並んでいました。まさに「全校の手本となる動き」です。「背中で見せる」6年生の姿、とてもうれしいです。



金曜日朝の6年生の靴箱

<サクラソウ日記：由来>

3月に行われた卒業式の日、体育館を彩ったサクラソウ。この花は、6月下旬におよそ0.1mmの大きさの種を蒔き、苗を作ります。10月ごろ、植木鉢に移植して、花が咲くように育てます。今回の花は、現在の6年生が卒業する先輩のために大事に準備してくれたものでした。今年も5月には種を収穫し、来年の春の開花を目指します。サクラソウは日々の積み重ねのモデルです。

通信の題名は、日々の積み重ねを大事にしていこうという願いを込めたものなのです。



宮脇自宅のサクラソウ

*現在、通信等への児童の氏名や写真の掲載について情報収集中です。学校通信での個別の氏名等の掲載を控えています。